

老健いばらき

第52号

2018.2.1



風力発電施設（神栖市）

写真提供：神栖市商工観光課

神栖市は、県の東南端に位置し、太平洋と利根川に囲まれた、温暖な気候が特徴のまちです。市の北部には鹿島港と鹿島臨海工業地帯があり、製造品出荷額は茨城県第1位です。農業では、温暖な気候を生かしたピーマンがブランド品として高い評価を受け、全国第1位の生産量を誇っています。海岸線には、日本初となる洋上を含めた約40基の風力発電施設があり、近未来的な景色を望むことができます。



©神栖市

神栖市イメージキャラクター
「カミスココくん」

発行所／一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会
発行人／平成園 小柳 賢時

編集人／かすみがうら
編集／田尻ケ丘ヘルシーケア
鹿野苑
プラタナスの丘
シニア健康センターしおさい
つくばリハビリテーションセンター

大場正二
石川達也
熊坂裕吾
大曾根卓
児島強一
市原健一

会長挨拶

一般社団法人

茨城県介護老人保健施設協会

会長

小柳

賢時

一般社団法人

茨城県介護老人保健施設協会

理事

熊坂 裕吾

ご挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様には日頃より老健のシステムを通じ、利用者のニーズに応じたケアの質の向上にご尽力されていることと存じます。

人口構造の変化に伴い持続可能な社会保障制度の構築が進められておりますが、今年は医療・介護報酬の同時改定の年です。先日には、医療0・55%・介護0・54%の報酬アップと発表されました。各論はこれから議論されますが、老健は在宅支援・在宅復帰・リハビリテーションを提供する地域拠点施設と位置付けられ、老健の機能評価も在宅復帰だけではなく在宅支援への評価も考慮され、リハビリ職・支援相談員の数・医療提供の質・かかりつけ医との連携・口腔衛生管理・栄養管理・身体拘束の適正化・通所リハビリ・訪問リハビリ・地域貢献活動への評価が考慮される方向です。ケアの質の確保・向上にも、人材・人手の確保が不可欠です。大変厳しい状況ですが、離職防止・再就職・介護学生数の増加などの対策を継続し、現実的ではないと考えていた外国人労働者についても対応していくかなければなりません。日本で就労する外国人労働者の中でも、長く日本で就労して頂いたための組み合わせや日本語能力の問題、資格取得を出来なかつた者への対策など、個々の施設だけではなく協会全体として考えなければならない問題です。

多くの問題に対応すべく、今年も気持ちを新たにして老健が地域に貢献し役割を果せるよう皆様と協力していきたいと思いますので、宜しくお願ひ申し上げます。

平素より茨城県介護老人保健施設協会会員施設様には、本協会の運営に多大なご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。また、今回このような掲載の機会をいただき誠にありがとうございました。

さて、今回は地域包括ケアシステムにおける、多職種連携の大切さについて少しお話しさせていただければと思います。現在65歳以上の人口は3,000万人を超えていました。団塊の世代が75歳以上となる2025年以降は、医療や介護の需要がさらに増加すると考えられます。皆様もご存知の通り厚生労働省では、重度の要介護者となつても住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が推進されています。急速に高齢化が進む中、要介護者が住み慣れた地域でその人らしい生活を継続していくには、地域包括ケアシステムの構築が重要となります。それに伴い、医療と介護の連携や在宅医療の充実、また介護離職を防ぐための仕事と介護の両立やサービスの提供を担う看護職員・介護職員の確保等が喫緊の課題となつております。

茨城県介護老人保健施設協会会員の皆様方には、日頃から高齢者保健福祉の向上並びに介護保険制度の円滑な運営に多大なご尽力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行している我が国では、介護サービスを必要とする高齢者人口は増加の一途を辿っております。それに伴い、医療と介護の連携や在宅医療の充実、また介護離職を防ぐための仕事と介護の両立やサービスの提供を担う看護職員・介護職員の確保等が喫緊の課題となつております。

このような中、地域の活力を維持していくためには、高齢者一人ひとりが社会を支える重要な一員として、年齢にかかわらず、働くことや社会参加できる環境を整えることが必要です。

県いたしましては、平成30年度から32度までの3年間に目指すべき基本的な政策目標及び取り組むべき施策の方向を定める「第7期いばらき高齢者プラン21」の策定を進めています。この計画の中では、団塊の世代全てが75歳以上となる平成37年度を見据え、高齢者が住み慣れた地域で、可能な限り暮らし続けられる「地域包括ケアシステム」の構

アップはもちろんのこと、円滑なコミュニケーションが図れる環境作りも課題の一つであると考えます。当施設が、地域包括ケアシステムの一翼を担うことができるよう私自身向上心を持つ、人材育成に日々邁進していると思っております。今後とも会員施設様には、ご指導・ご鞭撻いただけますよう宜しくお願いいたします。

結びに、今後とも本県の高齢者行政の推進にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協会の益々のご発展をより一層の期待が寄せられております。地域包括ケアシステムの中で、介護老人保健施設には地域に根ざした包括的ケアサービス施設としての大きな役割を担われており、祈念いたしまして、挨拶といたします。

茨城県保健福祉部
長寿福祉課地域ケア推進室
室長 石塚 孝之

ご挨拶

あけましておめでと!ございます。

茨城県介護老人保健施設協会会員の皆様方には、日頃から高齢者保健福祉の向上並びに介護保険制度の円滑な運営に多大なご尽力を賜り、厚くお礼を申し上げます。



茨城県介護老人保健施設協会 功労者表彰受賞にあたつて

介護老人保健施設さざんか荘

介護副主任 大島 亜紀

この度は、功労者として表彰して頂き、誠にありがとうございました。

介護老人保健施設さざんか荘は平成2年に開設し、私は平成8年に入職しました。

今振り返りますと、21年の間、勤務した月日の早さを改めて感じています。当初は介護技術もなく、命を預かる介護現場の責任の重さ、認知症ケアの難しさに苦悩した日々を思い出します。

私が長く勤務させて頂くことができましたのも施設長を始め諸先輩方のご指導、よき仲間に支えられたお陰で心より感謝しております。そして長い間には、利用者様との沢山の出会い、また別れもありました。その中で利用者様に寄り添い、喜び悲しみを分かち合い安心して生活が送れるよう自分なりに努力してきました。そして利用者様からの笑顔や感謝の言葉は、仕事のやりがいにも繋がっています。

さて、高齢化社会が問題になる中、老健の機能も変化してきました。それは老健が特養化し長期入所になつているという現実です。また、状態が安定しない利用者様を受け入れる等、介護職もより専門的な技術が求められるようになりました。そして、認知症ケアが重要視されるようになり、介護職による喀痰吸引、経管栄養の実施等の業務拡大、また施設での看取りケアの実施と更なる知識と技能を備えるべく研修も増えてきています。その反面、介護職のスキルが求められるようになります。個々個人にかかるストレスも多くなったのではないか。それらを受け、当施設では利用者様の安全

安樂を考えると同じように、職員の希望に添った勤務等、一人一人が安心して働ける環境を作つています。今後は身体の負担軽減を計る為、介護ロボット導入を視野に入れていきます。

最後に、これからも介護に携わる人間として、利用者様の生活を支え、その人らしく生きることを考えて今後も職務に取り組んでいきたいと思っております。

場に自分自身を置き換えて楽しくやさしいケアと利用者の立場に立ったケアプランを作成し提供できるよう尽くしたいと思います。

茨城県介護老人保健施設協会 永年勤続者表彰受賞にあたつて

介護老人保健施設 梨花苑

介護支援専門員 介護福祉士 吉田 洋子

この度は、功労者として表彰して頂き誠にありがとうございました。

この度は、功労者として表彰して頂き誠にありがとうございました。入職して25年になりますが、あつという間に歳月が経つてしまつたように感じています。

入職して、最初は医療型の療養病棟でした。有資格者が少ない中で試行錯誤の日々でした。専門的な技術や知識の必要性を感じ、介護福祉士の資格をとり、平成12年に介護保険制度が始まると同時に職場が介護型療養病棟へ移行したのを機にケアマネの資格を取得し、介護職とケアマネを兼務してきました。

現在は、平成19年に併設していた当施設へ移動しケアマネ業務を行つています。多職種者と情報を共有し、連携をとり個別性を重視したケアプラン作成や在宅復帰支援等を目指し、老健ならでの魅力を感じていましたが、年々、在所日数の増加と在宅復帰への割合が減少傾向にあり、医療依存の高い入所が増えてきており、老健の役割が徐々に変化してきています。

それぞれの職場で得たものは多く、専門的な知識を得たのはもちろんですが、良い介護など様々な事が変化してきました。日々忙しく仕事に追われる中で、スタッフ一同協力し合い、利用者様に寄り添つたより良い介護サービスが提供できるように取り組んでいます。又、当施設では平成十四年に増改築をするなどこれまで勤めてこられたのは、「ありがとうございました」という利用者様からの言葉に励まされたり、先輩方や同僚などに恵まれてきたか

うです。
これまで私が関わらせて頂いた多くの方々や家族に感謝し、初心を忘れず頑張つています。
この度、永年勤続者として表彰して頂きました。

茨城県介護老人保健施設協会 永年勤続者表彰受賞にあたつて

介護老人保健施設 ルーアシモツマ

事務 長崎 宣子

この度は、永年勤続者として表彰して頂き、誠にありがとうございました。

以前は歯科衛生士として働いておりましたのが、母の介護をきっかけに福祉に携わる仕事をしたいと思うようになり、当施設の開所(平成9年)より事務員として入職致しました。月日は経ちましたが、つい昨日のことの入職当时、歯科の世界しか知らなかつた私は右も左も分からず、施設長はじめ上司、同僚の力を借りながら業務を行つておりました。その後は経ちましたが、つい昨日のことのように戻ります。

現在は事務(当施設売店責任者)のお仕事のほかに、四季のお花を生けたり、観葉植物の手入れをするなど、ご利用者様に季節の移り変わりを少しでも感じて頂ける様な環境づくりにも励んであります。

ご利用者様からは、人生の先輩として今までの人生経験から得た教訓や、たくさんの笑顔を頂き、日々感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、当施設をご利用される皆様が充実し楽しく過ごして頂けるように、微力ながらも尽くしていかなければと心より思つております。

ありがとうございました。



老健いばらき

功労者表彰受賞者一覧表

施設名	職名	氏名	勤続年数
エバーグリーン	介護福祉士	小川ゆかり	24年11ヶ月
きねふち	介護主任	宮本 恵子	12年
こぎょうの里	支援相談員	柴 紀美子	16年
境町メディカルピクニック	介護士	中村由美子	16年
さざんか荘	介護職員	大島 亜紀	21年
サングリーンやまと	通所課主任	石原 誠治	13年
サンライフ宗仁会	介護福祉専門員	目時 洋子	19年
シニア健康センターしあさい	介護士	田所 久弥	17年
マカベシルバートビア	事務職	齋藤慶一郎	16年
まくらがの郷	事務長 主任介護支援専門員	平岡由香里	11年9ヶ月
ゆうゆう	看護師	鈴木 真理	11年3ヶ月
レイクヒルひぬま	介護長	榎戸とし子	18年

永年勤続者表彰受賞者一覧表

施設名	職名	氏名	勤続年数
エバーグリーン	介護士	小沢 崇	11年11ヶ月
エバーグリーン	事務職	益子 朋子	11年9ヶ月
エバーグリーン	理学療法士	中山 雄太	11年7ヶ月
エバーグリーン	准看護師	岩崎 昌子	11年1ヶ月
エバーグリーン	介護支援専門員	藤枝 幸司	11年
エバーグリーン	介護福祉士	荒木 利也	11年
大宮フロイデハイム	相談員	木戸田晶子	13年
大宮フロイデハイム	准看護師	大内まゆみ	11年
大宮フロイデハイム	相談員	綿引 正子	11年
大宮フロイデハイム	介護職員	關 正人	11年
大宮フロイデハイム	介護職員	谷田部翔太	11年
大宮フロイデハイム	介護職員	平野 達也	11年
かすみがうら	介護職	山本 良江	10年
かすみがうら	介護職	堤 修一	10年
くじらヶ丘	介護職	和田 喜信	10年
くじらヶ丘	介護職	大森 一枝	10年
くるみ館	事務	足立千恵子	11年
くるみ館	言語聴覚士	岡野 忍	11年
くるみ館	支援相談員	関根 一史	11年
くるみ館	介護福祉士	篠原 誠一	11年
こぎょうの里	事務長	浜崎 肇司	17年
こぎょうの里	介護職員	小林 寛幸	16年
こぎょうの里	介護職員	飯島明日美	16年
こぎょうの里	介護職員	鶴見 和也	15年
こぎょうの里	理学療法士	川西 弘晃	14年
こぎょうの里	介護職員	栗原千恵子	11年
こすもびあ	理学療法士	前沢 明彦	14年
境町メディカルピクニック	准看護師	羽石 広美	14年
境町メディカルピクニック	支援相談員	田宮 貴志	12年
さくら	介護福祉士	野口 美紀	12年
さくら	介護福祉士	桜井 大輔	11年
さくら	介護福祉士	黒江 敬人	11年
さくら	介護福祉士	熊谷 孝太	11年
さくらがわ	看護職	鈴木はつ江	12年1ヶ月

施設名	職名	氏名	勤続年数
さくらがわ	看護職	小久保弘子	10年6ヶ月
さくらがわ	看護職	村井 光宏	11年8ヶ月
さくらがわ	看護職	篠崎多恵子	10年10ヶ月
さくらがわ	介護職	木村 栄子	10年4ヶ月
さくらがわ	介護職	鶴見久美子	12年2ヶ月
さくらがわ	介護職	仁平 久美	11年
さくらがわ	介護職	村井 弘子	11年11ヶ月
さくらがわ	介護職	伊藤 康弘	11年8ヶ月
さくらがわ	介護職	鈴木 礼子	12年2ヶ月
さくらがわ	介護職	池田 華子	10年
さくらがわ	介護職	大島久美子	12年1ヶ月
さくらがわ	介護職	石島 美佳	10年
さくらがわ	介護職	高松 雅美	10年5ヶ月
さくらがわ	介護職	鈴木 智子	12年1ヶ月
さくらがわ	介護職	大久保礼子	10年10ヶ月
さくらがわ	介護職	塚田美由紀	10年
サングリーンやまと	看護師	飯田恵美子	15年3ヶ月
シニア健康センターしあさい	介護士	有賀 仁紀	10年
シニア健康センターしあさい	介護士	矢野 京子	10年
シニア健康センターしあさい	介護士	来栖 悅子	10年
シルバーケア土浦	介護福祉士	長井 尚子	10年3ヶ月
シルバーケア土浦	看護師	君崎 宣子	11年
シルバービリレッジ	看護師	打越喜美子	10年6ヶ月
シルバービリレッジ	支援相談員	柿長 真一	11年11ヶ月
シルバービリレッジ	介護職員	鈴木 聰	11年
春秋園	介護福祉士	吉沢 連菜	11年
春秋園	介護福祉士	川畑 恵吾	12年
春秋園	介護支援専門員	難波 祥子	11年
春秋園	事務	鬼澤美由貴	10年
春秋園	介護福祉士	山本 涼	11年
春秋園	介護福祉士	丸島 博子	11年
春秋園	介護福祉士	石坂良太郎	10年
セントラルゆうあい	介護福祉士	宮脇 勝義	10年6ヶ月
セントラルゆうあい	介護福祉士	谷津亜希子	10年3ヶ月
セントラルゆうあい	介護福祉士	岩淵 荒樹	11年1ヶ月
セントラルゆうあい	事務職員	椿 一重	10年
博純苑	事務職	山縣 充枝	16年
博純苑	介護職	佐藤奈津子	12年9ヶ月
博純苑	看護職	石川 良子	12年8ヶ月
博純苑	介護職	伊藤 浩二	12年6ヶ月
博純苑	事務営繕	新蔵 巨志	12年5ヶ月
プロスペクトガーデン	看護師	田中 啓道	11年
プロスペクトガーデン	介護士	長谷川成美	11年
プロスペクトガーデン	看護師	清水 里恵	10年
プロスペクトガーデン	介護士	平野喜美恵	10年
プロスペクトガーデン	管理栄養士	長谷川三穂	10年
プロスペクトガーデン	介護福祉士	介川 順子	10年
平成園	栄養課主任	木村 靖子	10年
平成園	ティケア課副主任	齊藤由美子	10年
マカベシルバートビア	事務職	成田 茂美	18年
マカベシルバートビア	介護職	神林 宏枝	12年
マカベシルバートビア	介護職	大川原幸子	10年
マカベシルバートビア	介護職	谷中 武	10年
まくらがの郷	作業療法士	小林 賢	12年
まくらがの郷	介護福祉士	和久田敦己	11年11ヶ月
まくらがの郷	介護福祉士	河口 祐太	11年11ヶ月
まくらがの郷	介護福祉士	小太刀綾子	11年5ヶ月
まくらがの郷	介護福祉士	秋山 友惠	11年4ヶ月
まくらがの郷	介護福祉士	高橋 玲子	11年3ヶ月
まくらがの郷	栄養士	上里 芳己	11年10ヶ月
まくらがの郷	栄養士	黛 直美	11年10ヶ月
まくらがの郷	社会福祉士	鈴木 良子	11年
ゆうゆう	介護福祉士	草間 仁	10年3ヶ月
ゆうゆう	介護士	内田記代子	10年2ヶ月
ゆうゆう	介護福祉士	閑満久	10年4ヶ月
ゆうゆう	介護福祉士	路川 由夏	10年2ヶ月
ゆうゆう	介護福祉士	竹田 慎司	10年
ゆうゆう	作業療法士	市川 祥子	10年
ゆうゆう	事務	鈴木 孝典	10年1ヶ月
ゆうゆう	送迎	丸山 達男	10年2ヶ月
梨花苑	准看護師	臼井 順子	11年9ヶ月
梨花苑	介護福祉士	山中 宏友	23年
梨花苑	介護職員	中村ふさ子	20年5ヶ月
梨花苑	介護福祉士	田崎 悅子	20年
梨花苑	介護職員	郡司昌佐己	14年
梨花苑	介護福祉士	小林 千芳	12年
梨花苑	介護職員	高津 一輝	10年11ヶ月
梨花苑	介護福祉士	市村 智也	10年
梨花苑	事務長	黒澤 史朗	11年1ヶ月
梨花苑	事務主任	池田 秀子	23年1ヶ月
リヒハウス北浦	介護支援専門員	小島 智未	11年
リヒハウス北浦	介護福祉士	曾谷 希	11年
リヒハウス北浦	看護職	内野 幸子	10年
リヒハウス北浦	介護支援専門員	飯田 武宏	10年
リヒハウス北浦	介護福祉士	笹野 晃	10年
リヒハウス北浦	介護福祉士	宮本 裕希	10年
涼風苑	看護師	川見 賢一	17年
涼風苑	介護福祉士	青山 雅子	16年
涼風苑	介護福祉士	結束 広和	16年
ルーエしもつま	事務	長崎 宣子	20年
ルーエしもつま	准看護師	日向 史子	19年
ルーエしもつま	准看護師	神藤真智子	18年
ルーエしもつま	介護福祉士	渡辺 豊子	14年

事務専門委員会 研修会報告

委員長 みなど苑 寺門 薫

平成29年10月13日に茨城県立健康プラザにて、第2回事務専門委員会研修会を開催いたしました。

今回は、日々の業務において励んでいることや困っていること、また、他の施設に聞いてみたいことなどを、ざっくばらんに話し合っていただき、事務職員相互の交流を深めることを目的としグループワーク形式で、「座談会」を開催させていただきました。名刺交換から始まり、最初は緊張していた皆さんがとても和やかな雰囲気になりました。話し合いは、事前に皆さんから寄せられたアンケートをもとに、各グループで日頃、悩んでいることや、今まで自身では気づけなかつたことなど多数の意見を交換することができ、内容の充実した研修会を行うことができました。「あっと言う間に時間が過ぎてしまった。」「もっと聞きたいことがあったのに・・・」など、感じた人達もいらしたと思います。今回の研修会を基に、他の施設との交流で得られたことを活かし、今後の日々の業務に励んでいければと思います。

来年度も、研修会を予定しております。日々の業務の中で、お忙しいとは存じますが、多数の方々にご参加いただけますよう、ご協力をお願い致します。

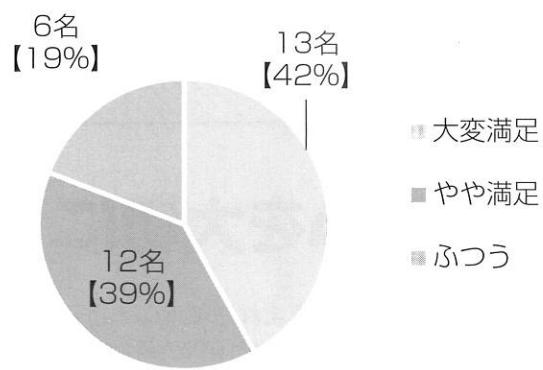


平成29年10月13日 第2回事務専門委員会アンケート集計結果

参加者構成：出席者32名中、アンケート回収数 31名
(管理・監督者 8人 従業員 23人)

研修評価

今回の研修会はいかがでしたか？	人数	割合
大変満足	13	42%
やや満足	12	39%
ふつう	6	19%
やや不満	0	0%
不満	0	0%
無記入	0	0%
合 計	31	100%



- ・普段聞けない内容が聞けた。
- ・同業者間交流が出来たことがよかったです。
- ・日頃分からなかった細かいことが聞けたので。
- ・情報交換が出来て勉強になった。
- ・他施設の工夫している点などを知ることができて、とてもためになった。
- ・貴重な話が聞けた。
- ・他施設の取り組みが色々聞けた。
- ・経験豊富な方々から、貴重な話を伺う事が出来て、今後の事務作業・業務について、参考になった。
- ・他施設の状況が確認できた。
- ・なんとなくざっくばらんに話せた。

身体拘束ゼロを目指して ～今、出来ること～

当施設つくばリハビリテーションセンターは、平成8年つくば市大曾根に入所100床（ショートステイ含む）をいちはら病院に隣接して開設しました。

ここ数年の間に入所されている利用者様の状態は重症化し、医療依存度も高く、高次脳機能障害や認知機能の低下がみられる利用者様が年々増加傾向にあります。その為、数名ではありますが止む無く身体拘束をしているのが現状です。

そのような中、今回『高齢者権利擁護推進委員養成研修』に参加し、とても衝撃を受けました。参加したほとんどの施設が拘束をしていないということでした。また、実習で伺った施設も以前は拘束をしていたことがありました、「拘束してはいけない」と制定されたときに拘束するもの全てを破棄したというお話しもありました。研修後、『このままではいけない』という想いにかられ、施設長・管理者と話し合いを重ね、改めて「身体拘束ゼロ」の方針を示しました。その後、伝達講習を開催し、スタッフ全員で身体拘束について意見交換をする場を設けました。たく

介護老人保健施設 つくばリハビリテーションセンター
介護主任 石川 智子

さんの意見が飛び交い、スタッフ間でのコミュニケーションも広がり、身体拘束ゼロへの意識が高まり、良いスタートが切れたと感じています。

利用者様に「本来あるべき姿」「安心して生活が出来る場所」を提供することが大切であり、私たち介護者のペースではなく、利用者様のペースに合わせたサービスを提供できるよう心掛けたいこうと思います。また、介護のプロとして意識を高く持ち、ご家族とも信頼関係を築いていけるよう、職員一丸となって日々精進していきたいと思います。



寄り添う心を大切に

紫峰筑波山に囲まれ緑に恵まれた環境のもと石岡市医師会病院併設の施設として、平成10年7月に開設し、今年20周年をむかえようとしています。

現在、私は、支援相談員として5ヶ月がたとうとしています。

以前は介護職として10年以上、ご利用者1人のその日の体調に合わせた気持ちに寄り添う介護を心掛け、ケアプランに沿った介護に携わってきました。今回、支援相談員になり、気が付いたことは、ご利用者はもちろんのこと、ご利用者を支えるご家族にも寄り添うことの大切さです。相談に来所された方は、多くのことを不安に感じており、その内容は、多岐多様に渡ります。ご利用者のお体の状態、疾病、環境などを伺い、不安、疑問の1つ

介護老人保健施設 ゆうゆう
支援相談員 田崎 亜由美

1つに丁寧にお答え出来るよう心がけております。ゆうゆうでは、各専門職種、勤続年数の長いスタッフが多く、リハビリ、看護、介護等チームケアを行ううえでも経験豊富なスタッフに相談出来ることがとても強みです。

利用される方々においても「ゆうゆうに来て良かった」とご満足頂けるよう、全力で支援していきたいと思います。

「ゆうゆう」は、心の通う関わりを大切に、開設時に蒔いた“優しさの種”が芽を出し笑顔に満ちた毎日が送れるよう他職種協働での支援に取り組んでおります。その一端を担う相談員として、ご利用者、ご家族のお気持ちを大切に、気軽に相談出来る身近な存在として成長していきたいと思います。



施設紹介

介護老人保健施設 鹿野苑は、平成2年に鹿嶋市に開設された入所100名、通所120名の受け入れが可能な在宅復帰強化型の施設です。当施設は、医師・看護師・薬剤師・介護福祉士・管理栄養士・介護支援専門員・支援相談員に加えて、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等の16名のリハビリに特化したスタッフを配置しています。

当施設のリハビリでは、入所・通所ともに家屋訪問に力を入れています。家屋訪問にて評価した内容をもとに居室内の環境を整え、スムーズに在宅生活へと移行できるよう工夫しています。ご自宅へ退所され、デイケアへと移行した後も定期的に訪問を行い在宅生活が継続できるようフォローを行っています。

また、環境調整や身体能力面だけではなく、食事サービスの質の向上にも力を入れています。言語聴覚士がミーティングラウンドに積極的に参加し摂食・嚥下状態の観察を行い、そこで評価した内容を介護・看護・管理栄養士と共に連携を図ることで、より適した食形態・摂取方法で安全に食事を提供することが可能になります。

平成28年6月には最先端のトレーニングマシン、「POWER PLATE」を導入しました。1秒30～50回の高速振動を利用して、10～15分の実施で約60分の運動効果が得られ、短時間で効果的なトレーニングが可能です。車椅子に座ったままでも気軽に使用できるので、積極的にリハビリプログラムに取り入れています。

また、関連病院である小山記念病院の脳外科・整形外科の医師による定期的な往診もあり、医療面でのサポートも充実しています。

今後も、地域の発展に貢献できるようスタッフ一同日々向上心を持って努力して参りたいと思います。ご指導・ご鞭撻よろしくお願ひいたします。



医療法人 善仁会
介護老人保健施設 鹿野苑

茨城県鹿嶋市宮津台188-17
TEL : 0299-83-7311
FAX : 0299-83-7348

カーサ・ビアンしろさと (城里町)



●ディケアしろさと

10月のハロウィンのちぎり絵をディケアのご利用者様と一緒に作りました。

作業活動を行うことで、ご利用者様同士の交流も深まり、ディケアに来ることを、楽しみにしている利用者様が増えています。

み
ん
だ
よ

生きいき倶楽部 (結城市)



●Merry Christmas & Happy New Year

当施設の入所・ディケア利用者様の協同作品です。職員と共に今年一年を振り返りながら楽しく製作しました。

一人一人の思いが沢山込められた素敵なクリスマスマニュアル、施設のクリスマス会の会場を美しく装いました。皆様の健康と幸せを祈って…Merry Christmas & Happy New Year

サンライズ湊 (ひたちなか市)



●Merry Christmas

クリスマスに向か、クリスマスツリーを飾りました。ツリーが出来上がるごとに、キレイだね、もう今年も終わりだね、早いね～などの声も聞かれました。

年齢的には馴染みのない行事ですが、クリスマスの雰囲気を味わって頂きたく、行事を計画し、今年も笑顔で終われるよう楽しみました。

お
な
ま
場

夢彩の舎 (境町)

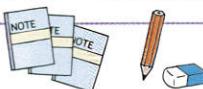


●夢彩まつり

当施設では、毎年8月に夏祭りを開催しています。

ご利用者様やご家族様には、出店で作った焼きそばなどを召し上がっていただいたり、近所の中学校の吹奏楽部の演奏などの催し物を見て楽しんだりしていただきました。最後はスタッフによるソーラン節と打ち上げ花火にて締め、大変盛り上りました。

一編集後記



カミスココくんは、「神栖ってどこ？」と知らない人が多い中、茨城県の形の頭で神栖市の位置を指し示し、「神栖市はココです！」と全国に一生懸命アピールしています。ゆるキャラグランプリ2017では、前回の全国50位から堂々の7位と躍進しました。2020年の東京オリンピックでサッカー競技の開催が決定し、世界の注目が集まる鹿嶋市とともに、この地域を大いにPRしてくれるものと期待しています。

一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会

水戸事務局

水戸市千波町1918（月・金9:00～13:00）
TEL. 029-291-5376 FAX. 029-291-6057

平成園

古河市旭町1-17-39（左記以外時間帯対応）
TEL. 0280-31-5998 FAX. 0280-31-7767